

美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

1 事業名：「花と文化のふるさとづくり」小さな組織の挑戦 —20年を目指して

2 実施団体：大茅地区活性化協議会

3 担当課：美作県民局 地域づくり推進課

4 事業概要

地域資源の再認識（活用）を行う。（事業概要、具体的な進め方等）

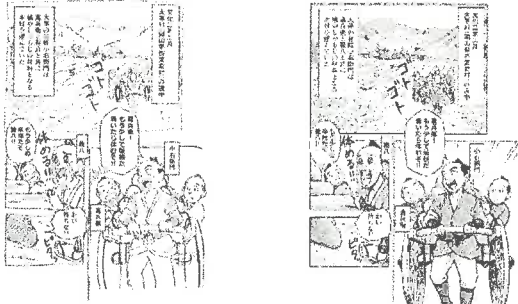
次の項目の事柄を1年を通じて展開して行く（月別計画別紙）

- ① 花 芝桜、山アジサイ、フジバカマ（これらの維持管理に④も組み込む）、
- ② 文化 ・「大茅区有文書」の漫画化（3年計画）
 - ・鉄山地区のたたら製鉄の遺跡、墓地、原生林を巡る催し
 - ・将来に備え（インバウンド受入れ、旅行、子供）英語に親しむ講習会（年間を通ず）
- ③ 地域資源活用 源流の川をいかした「夏休み親子イベント」併せて環境調査
 - ・過去実施していたイベントの復活（Ledを使用した新しい形の雪あかり in 大茅の復活
 - ・360度水平線の1100mのダルガ峰高原での黄昏～「星空観察」（スマート望遠鏡使用）
 - ・地区内の工房と連携した催し（若杉窯、MORINO-OTO 木の楽器制作、フェルワーク 鉄と木の融合（イスラエル）、
- ④ 学校との連携 通信制高校と連携し、校外活動等の活動の場を提供する
- ⑤ 広域的な講習会開催 「小さな組織で出来る事」を元気集落対象に伝える催し
押し花教室（芝桜、山アジサイ） やたら漬け講習
- ⑤ 水田、農園を利用した「農業体験、環境学習」

5 実施内容

協議会の活動としては70日余り何らかの事柄で関わりがあった中で、美作国創生公募事業により16イベントを実施した。

- ・学校との連携では通信制高校等と6回交流を行い、今回初めて冬の活動（かんじき作り、ウォーキング）が出来た。
- ・年間を通して英会話の集まりを16回行い、講師にも親しくなれ、英語が身近になって来た。他国の文化に触れ、豊かな人生をいきいきと送れるきっかけになるイベントとなる。
- ・スマート望遠鏡利用によりレモン彗星、各種星雲の観測会を実施した。寒い中でも暖かい室内のモニターでリアルタイムで見れる様になる。星空少年の復活に期待が深まる。
- ・LED、ヘリウムガスを使用した環境にやさしいスカイランタンを7年振りに復活となる。
- ・地区の古文書が次世代、子供達にも関心が生まれる様「漫画化」を3年計画で開始した。古文書の解読が出来れば「現代語訳」、下絵が出来れば「仕上げ」がAIでかなり可能となり完成に希望が見えて来た。
- ・芝桜公園内に8カ所の案内看板を作成し、併せてQRコード読み取りで動画解説が見え、聞ける様に行った。
- ・休息所の「あゆみ」写真を取り換えるように資材を準備した。

 <p>「夢遊人」英会話Cafe 自分の口で話す 人生を豊かに、 他国へ交流する 10月17日(土)20時 10~15人 1000円(税別)</p> 	
<p>英会話(人生を豊かに、外国人に慣れる)</p>	<p>スマート望遠鏡利用による彗星、星雲観察会</p>
 	
<p>環境にやさしいスカイランタンの復活</p>	<p>古文書の漫画化 AI利用による仕上げが見えて来る</p>

6 事業実施による成果、効果、今後の課題

(1) 成果、効果

- ・今回、新たな事柄に踏み出す援助を頂いたので、それに対するノウハウも蓄積し、次年度から自力で可能にする目途が出来た事は大きな成果である。
- ・元気集落の「集い」を行い、他地区との交流の中で「ふるさと納税」での有意義な情報を頂き、2月当村担当者との協議を行い、住民組織への援助を要望する。
- ・春よりの関係人口は8000人となり、整備された景観を作り、維持して行けば1万人が見えて来た。

(2) 今後の課題

- ・基本である芝桜の継続が出来る仕組み作り(品種、体制)
(有望品種(フロクストロット)を大切に増やし、芝桜を補完する花桃大苗を毎年20本程度新植しもう少し広がりのある景観を創る事)
- ・後継者の育成(地区の文化等を理解し、全体を管理)
- ・自前の駐車場(新トンネル残土は建設弘済会様のお世話により目途あり)
- ・協力者の輪が広がる事(ハード面はやればできるが、人的な面はハードルが高い)

7 県民局と連携した効果及び課題

- ・(1)の成果でも述べましたが、私達末端の資金力の無い組織では新たな事に乗り出すのは中々困難です。今回県民局のご支援により、アンテナショップ的に模索して来ましたが、次年度へ進む勇気を頂きました。人的にも繋がりが出来、情報、相談のパイプが増え有意義でした。